

◇舞台利用に関するご注意・ご案内◇（一般向け）

吉岐の島ホールでは、舞台・音響・照明の専属する技術職員を配置しておりませんので、施設管理職員が基本的な対応範囲の操作をお引き受けします。但し、演出内容等の責任は負わないことを条件とします。

対応範囲を超える作業、演出操作、舞台転換や人員配置については、主催者手配にて人員及び外部技術員（専門業者等）を手配してください。なお、簡単な舞台作業や音響・照明は、事前に指導します。

ホール職員で可能か手配が必要かご確認いただくためにも、ご利用の計画・企画の段階でお早めにご相談ください。

安全且つ円滑なステージ進行にご理解とご協力をお願いします。

●舞台を進行するスタッフ配置(一例)

(大ホール)

催物名		主催者スタッフ	ホール職員
講演会・説明会・式典		進行、マイク係、講師対応、舞台配置転換、PC操作、プロジェクター操作	音響・照明 2名
演奏会	生演奏・合唱	進行、マイク係	音響・照明 2名
	演出あり 転換あり	進行、マイク係、演者対応、 舞台配置転換	音響・照明・舞台 3名
	電子・電気楽器	進行、楽器対応、舞台配置転換、 (リハーサル時に音量レベル調整・固定必要)	音響・照明 2名
演芸会		進行、マイク係、舞台配置転換、 演者対応、ピンスポット、めくり	音響・照明・舞台 3名
カラオケ、ダンス、歌謡ショー (ホール職員で対応可能な場合)		進行、音響係、マイク係、舞台配置転換、 演者対応、ピンスポット	音響・照明・舞台 3名
日本舞踊、邦楽、伝統芸能 (ホール職員で対応可能な場合)		進行、マイク係、舞台配置転換、 演者対応、ピンスポット	音響・照明・舞台 3名

(中ホール)

催物名	主催者スタッフ	ホール職員
催物全般	進行、マイク係、講師対応、舞台配置転換、PC操作、プロジェクター操作	基本1名

■初めての方でも可能な操作(例)

舞台	演台・長机・椅子の扱い、舞台転換、マイク等の出し引きなど
音響操作卓	ON⇔OFF操作(マイク、音源CDなどや録音機器)
照明操作卓	明⇔暗の操作、記憶済み照明シーンのページ送り
ピンスポット	簡単な操作に限る。

■外部技術員(専門業者等)が必要とされること

舞 台	美術大道具や吊り物の昇降などの舞台転換が必要。 ピアノ調律が必要
音 響	多数のマイクが必要(音量音質調整が多い。配置転換が多い。) 複数のモニタースピーカーが必要。特設スピーカーが必要。 演者や演目毎に高度な音質調整が必要。 きっかけが必要な操作。(Q 出し要員の配置なら可)
照 明	ピンスポットに習熟した操作が必要。 多くの照明シーンと変化が必要。特殊な効果器が必要。 きっかけが必要な操作。(Q 出し要員の配置なら可)
その他	映画上映、バレエ、演劇、ミュージカルなど。 入場料等を徴収する催物。 そのほか必要と判断する内容。

■ホール職員の作業範囲

舞 台	緞帳、電動昇降装置、音響反射板の設置や操作。 ピアノ、屏風、所作台の設置・移動・撤去。座席の脱着 看板・懸垂幕設置、ひな壇設置などの指導・補助 舞台に関する設備等の指導・補助・助言
音 響	2 本以内のマイクの設置(基本セット) 常設の拡声装置の設置・調整。再生装置・録音装置の設置 マイクやスピーカーは、リハーサル等で調整した設定で対応。 録音は、レベル固定での流し録りのみ対応。 音質は、大ホール中ホールの基本設定で対応。 舞台音響に関する設備の操作の指導・助言
照 明	基本セットと地明かり・前明かり・ネライ明かり等の設置と調整 舞台背景の色付き照明の設置と調整(演目毎1シーン) 本番中の調光操作は、基本的な明⇄暗の操作で対応 舞台照明に関する設備の操作の指導・助言
その他	上記に関わらず協議のうえ、対応可能と判断する内容

●事故防止のための留意事項

- 舞台上の準備は、看板や懸垂幕を吊り上げてから行っていただきます。
看板等は、事前にご持参ください。
- 音響反射板の設置には約1時間必要です。非常に危険が伴う作業ですので
舞台と客席を立入禁止とします。
- 舞台照明の準備中や調整中は、舞台と客席を暗くします。気をつけください。
- 緞帳を使用する場合、動作時に事故が発生する危険があります。
また、動作範囲内に物を置いたり、人が入らないよう注視してください。
- 搬入口の扉の開閉、シャッターは、ホール職員で行います。
- ご利用は、時間に余裕をもったタイムスケジュールでご利用ください。
- 施設内での火気の使用は厳禁となっております。(IHヒーター可)
- 舞台演出での裸火や危険物の利用は、吉岐消防署へ使用申請が必要です。